

令和5年度 学校評価報告

草加市立新栄小学校
(令和6年2月8日作成)

1 学校教育目標 なかよく：豊かな人間性とコミュニケーション かしこく：学ぶ意欲と確かな学力 たくましく：心身の健康と体力 【目指す学校像】 一人ひとりの子どもが輝く学校	
2 重点目標・努力目標 ・確かな学力を育む教育の推進 ・豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進 ・体力向上・健康教育の継続 ・一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談の推進 ・安全で潤いのある教育環境づくり ・地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進 ・学校事故の防止と教職員事故の根絶	3 前年度の成果と課題 成果 ○保護者の学校評価アンケートで多くの項目で高評価を得た。(19項目中15項目) 課題 ●全ての児童が主体的に授業に参加し、基礎学力の定着や向上に学校全体で取り組んでいく。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○前年度の反省を踏まえて効率的に職員会議を運営することができた。 ●教職員の特性を生かした適材適所の校務分掌と組織の改善をさらに進める。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○個人研修を見据え、一人ひとりが課題意識をもって研修に取り組んだ。 ○校内でも自主的に授業を公開し、若手教員の育成に努める姿も見られた。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○毎日の健康観察をしっかりと行うとともに、手洗いや換気を奨励し、感染症予防に努めた。 ○警察署に協力をいただき、不審者対応の訓練を行った。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○規定に基づき、個人情報の管理を日常的に行っている。 ○毎月、各担当で安全点検を行い、危険箇所の確実な把握するとともに即時対応をできた。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○各種たよりや学校ホームページを通じて、保護者や地域の方への情報提供、発信を心がけた。 ○学校運営協議会が定期的に関われ、学校の様子を伝えることができた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○新栄中学校の教員による乗り入れ授業を行い、児童理解を図った。 ●より中学校区の児童・生徒の実態に即した一貫教育の取組や各教科における指導内容についての研究を深める。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各学級で毎週の学習予定表を作成・配付することにより計画的に授業を進めることができた。 ●各学年の余剰時数が適正になるよう教育計画を見直す。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年、各教科の進捗状況を学期毎に学校全体で確認し、計画的に指導することができた。 ○全員が授業を公開し、それぞれの視点で授業改善を図ることができた。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○外部指導者を招聘し、指導方法の改善、生活に生きる道徳について研修し、実践力を高めることができた。 ●家庭への啓発、地域社会との連携をより深めていく。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的にALTを活用し、児童の外国語活動への意欲向上を図ることができた。 ○ALTと連携し、指導体制の充実を図ることができた。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○年間計画に基づき、学校行事や児童会活動に取り組むことができた。 ○開校50周年記念事業では、児童が活躍できる場として全校で児童集会を実施することができた。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○特色を生かした学習活動を計画的に実施することができた。 ●指導内容の精選を行い、地域の人材をより活用できるようにする。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導上の問題が生じた際には、迅速に報告・連絡・相談を行い、組織で即日対応にあたることができた。 ○いじめ防止対策委員会では、外部有識者も交えた協議を行うことができた。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパスポートの活用により、自身の変容や成長を自己評価することができた。 ●各学年でのキャリア教育の取組をさらに充実させる必要がある。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修、巡回相談等の外部機関との連携等を効果的に実施し、効果的な指導に向けた共通理解が図れた。 ●児童の実態に応じた効果的な支援の充実・改善を行う。

⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫 	A	○校内で読書に関する様々なイベントの実施、図書ボランティアによる読み聞かせ等、読書活動を充実させることができた。
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	○タブレットパソコンの活用した授業が常態化してきている。 ●携帯電話の使い方を含め、児童の情報モラルの意識を向上させる。
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	○人権作文、標語など学校全体で取り組むことができた。 ○校内研修を実施し、全職員で人権問題についての共通理解を図った。

(様式1・小学校用③)

草加市立新栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①食育	・多種多様な給食活動	B	○交流給食が始まり、異学年で楽しく食事をする姿が見られた。 ○学校保健員会では、民間企業から講師を招聘し、食をテーマとした講話を聞くことができた。
	②安全安心・美のある学校	・安全で美しい環境整備	B	○植栽ボランティアによる活動を通して1年中、花の絶えない美のある学校になっている。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・保護者の学校評価アンケートでは、評価項目19項目中、半分以上の13項目で「できている」「だいたいできている」の高評価(90%以上)を得た。例年課題となっている「机、ロッカー、くつ入れ等の整理整頓」については、「できている」と回答した割合は昨年度5%上昇したが、今年度はさらに4%上昇した。また、家庭学習については「できている」が昨年度は前年度より6%上昇となったが、今年度はさらに4%上昇した。
- ・施設の老朽化の改修や学習環境の整備については、多くの箇所を整備することができた。
- ・50周年記念実行委員会による様々なイベントが実施され、子供たちが50周年を意識し、楽しくお祝いすることができた。

6 次年度の改善策

- ・施設の老朽化の改修や学習環境の整備については、児童の安全など優先順位を明確にししながら、引き続き草加市教育委員会に要望を行う。
- ・タブレットの活用について研究を進めるとともに、情報モラル教育についても指導を進めていく。
- ・働き方改革及び業務改善をさらに進め、教材研究、授業の充実から学力の向上につなげる。
- ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、関係機関との連携を密にして、組織的に対応していくことにより、問題行動やいじめの未然防止、早期発見、早期解決や不登校の解消につなげていく。
- ・授業改善を組織的に進めたが、さらに学力調査等にその成果が十分に反映できるように対策していく。